

2018~2019年度

ROTARY INTERNATIONAL
第2770地区 大宮東ロータリークラブ 週報
『実り豊かな奉仕を目指して』
 インスピレーションになるう

RIテーマ
BE THE INSPIRATION
 青少年奉仕月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会長	黒須英男
時間	12:30~13:30		5-50-9-B-2	幹事	金子浩万
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	TEL	048-685-0145	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	FAX	048-687-3495	常任委員長	志村 広
		Eメール	omiya.e.rc@nifty.com	公共イメージ	
		http://www.omiyaeast-rc.jp/		向上委員長	河本 博

点鐘 黒須 英男会長 ソング 手に手つないで
 ◆ヌル アティカ ピンティ ハッタ様(国際ロータリー第2770地区2019~2021年米山記念奨学生・世話クラブ 大宮東ロータリークラブ)

会長挨拶 黒須 英男 会長



皆さん改めてこんにちは、本日は平成最後の例会になります。本日のお客様は、米山記念奨学生のヌルアティカ ピンティ ハッタさんです。後程ご挨拶よろしくお願ひいたします。ところで皆さん、平成を振り返ってみると、色々と災害の多い

年でした。平成2年の雪仙普賢岳の噴火による火砕流の発生から始まり、平成5年の北海道南西沖地震による奥尻島への津波で多くの方が亡くなった。またその年に、やませ(冷害)による東北地方での米の不作で、翌年はコメ不足のためタイ米が輸入され販売されました。平成7年に阪神淡路大震災で6400名以上の死者がでた。平成12年の三宅島噴火による全島民避難。平成16年新潟県中越地震による死者は68名、錦鯉の生産者は大打撃を受けました。平成18年は豪雪でした。青森では4.5mの積雪で、スリップや衝突などの交通事故が多発、落雪による事故で死者行方不明者150名以上になった。平成23年3月11日東日本大震災が発生した、マグニチュード9.0は、日本観測史上最大規模であり、震度7が観測されたのは阪神淡路大震災、新潟県中越地震以来、3回目である。死者・行方不明者は1万8,434人とされており、第二次世界大戦後最悪の自然災害とも呼ばれている。岩手県・宮城県では東に4m~5m移動した。また、さいたま市でも40cm東に移動しました。平成26年の御嶽山噴火。平成28年の熊本地震。そして、平成30年6月28日~7月8日にかけて、西日本を中心に発生した豪雨、死者227人。特に広島県・岡山県・愛媛県での被害が見られた。水害で100人以上の死者が出たのは平成始めて以来のことであり「平成最悪の水害」と言われています。友好クラブであります松山北ロータリークラブの新矢会長には何度もメールを送り確認させていただきました。松

山市内では被害はなく安堵したことは昨日のように覚えています。そして、台風21号により関西国際空港では、連絡橋にタンカーがぶつかり崩壊し5000人が孤立状態になった。滑走路1本は水没し暫く使用できませんでした。同じ年に北海道胆振東部地震では厚真町では震度7を観測した。苫東厚真火力発電所が被害を受け、北海道全域で停電しました。平成という時代は他にも沢山の被害・災害がありました。新しい元号が災害のない時代であってほしいと願うばかりです。以上で会長挨拶とさせていただきます。引き続きクラブ協議会において渡部エレクトによる次年度会長方針あります。よろしくお願ひいたします。

幹事報告 金子 浩万 幹事



1. 次回の例会は5月8日(水)こちらの会場となります。
2. 第11回理事役員会を5月8日(水)例会終了後に開催いたしますので理事役員の皆様、宜しくお願い致します。

ご挨拶 ヌル アティカ ピンティ ハッタ様



皆様こんにちは。大学院になって必修科目が増えて宿題も多く忙しくなります。新しい友達ができました。とても優しいです。5月6日から1カ月ラマダンになります。ラマダンの間は日の出から日没まで何も口にできません。水も飲めません。これは心身を清める目的があります。お金持ちの人も貧しい人の気持ちを知って思いやりの心を持つ意味もあります。ラマダンの間は例会でも食事ができません。よろしくお願ひ致します。

委員会報告

次年度幹事報告 小峰敬右次年度幹事

5月7日(火) 18:00~東大宮コミュニティセンターで炉辺会議を開催いたしますのでご出席よろしくお願ひ致します。

米山記念奨学委員会 鈴木八郎委員長

米山記念奨学生のアティカさんは宗教上の習慣で食事では豚肉などいくつかの食品を食べることができません。また、握手など体に触れることもできませんのでご理解いただきたくよろしくお願ひ致します。

出席報告 山田博司委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
4/24	40	234	6	16	0	66.67
前回	40	21	6	11	8	80.56

次年度会長方針 渡部正司会長エレクト



「2019~2020年度渡部正司会長：所信表明」

2019~2020年度RI会長はマーク・ダニエル・マコーニー氏(ジケーターロータリークラブ・米国アラバマ州)弁護士です。RI 会長テーマの要旨：私たちの役割として、ロータリーだけでなく、どの組織でもリーダーの役割が重要です。可能な限り最大限を達成するのではなく、周りの人が可能な限り最大限を達成できるようにすることです。ロータリーを成長させること。①会員基盤を成長させる。今までの会員増強は大だだのバケツに水を注ぐようなもの。会員の不十分な参加や、着実に進む会員の高齢化に取り組む必要がある。根本から変える時が来ている。「職業分類制度の再発見」・「退会防止」・「新クラブ結成」見方を変える。②ロータリーと家族。ロータリー活動と家族とを補完し合う文化の構築。会員のスケジュールに配慮し、ロータリー行事に子供を受け入れる。地域社会に貢献したいという若い職業人たちの日常的な現実を無視したままでは、ロータリー会員の平均年齢を変えることはできません。人生の段階の途上にある若い世代を、ありのままに迎え入れる必要があります。③ロータリーリーダーと仕事の共存。ロータリーでリーダーとなることを阻む障壁の多くは、私たち自身が築いたものであり、違う時代、違う世代に合わせてつくられたもの。今こそ、適応し、文化を変える時が来ています。全クラブを個別に訪問しなくても優れた地区がバナーになれる。全部一人でこなさなくても優れたクラブ会長になれる。リーダーシップの文化を変えよう。これら3つの強調事項はすべて、組織内部の健全さ、すなわち、ロータリーの成長を可能とする構造と機能に焦点を当てています。ロータリーは、それが奉仕する世界に存在するのであり、世界をつなぐために奉仕しています。④国連とのパートナーシップ。健康・平和・持続可能な世界に向けた公約。「持続可能な開発目標」16つの重点分野。奉仕と平和という精神の下に世界中の人の心がつながることができ、目標に向かって意欲ある行動を起こすことのできる。世界がつかないほど分断されている今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。2019~2020年度のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」です。第2770地区ガバナーは小林操氏(越谷北ロータリークラブ)生年月日：1948年1月5日 出身地：世田谷、職業：税理士、趣味：渓流釣り、ロータリー歴：1988年5月入会です。地区活動方針は「ロータリーは世界をつなぐ」(Rotary Connects World)。「ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ」。優先事項1の目標：人びとが手を取り合うのを促す1. クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する。2. 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る。3. 新しいクラブの結成をする。4. 女性会員や40歳未満の会員の入会、またロータリーアクターのロータリークラブ入会を促し、会員増加を図る。5. インターアクト、ロータリーアクト、ロータリークラブ会員間およびほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する。優先事項2の目標：行動する6. ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える。7. 地区財団活動資金(DDF)を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオ・プラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす。8. 年次基金とポリオ・プラスへの寄付を増やしつつ、2020年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる。9. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進する世界ポリオデー10月24日に全クラブがイベントを開催し寄付を勧奨する。クラブ戦略計画(又はビジョン)を作成し年度計画書に掲載する。全クラブが会員100% MY ROTARY に登録する。全クラブが「ロータリー賞」に挑戦する。会員増強維持、インターアクト・ロータリーアクトの人数を増やし共に積極的に活動する。財務の適正化、クラブ活性化に励む。会員数 2770 名。出席率 90%以上を目指す(メーキャップの活用)ロータリー財団寄付：年次基金会員1名 200ドル。ポリオ・プラス基金会員1名 50ドル。恒久基金：クラブ1名(ベネファクター1,000ドル) *会員50名以上のクラブ2名。米山記念奨学会寄付：会員1名 25,000円(普通寄付5,000円、特別寄付20,000円)。青少年交換学生12名。クラブポリオデー開催数74クラブ100%。ポリオデー等イベント基金目標額(上記ポリオ・プラス基金とは別)。クラブ会員650ドル以上。クラブ会長自己紹介。生年月日：1970年10月3日。出身地：福島県会津若松市生まれ学歴：平成元年 千葉県私立八千代松陰高校卒。平成3年 学校法人中央工学校 建築設計課卒。職業：アルファ設計企画株式会社 代表取締役。家族構成：妻・長男。趣味：ゴルフ・映画鑑賞。5月1日より元号が「令和」に変わります。当大宮東ロータリークラブにおきましては、2019-2020年度よりいっそうの「和」をテーマに、1年取り組んでいきたいと思ひます。「和」とは、1 仲よくすること。互いに相手を大切に、協力し合う関係にあること。「人の和」「家族の和」2 仲直りすること。争いをやめること。「和を結ぶ」「和を講じる」3 調和のとれていること。地区補助金について、社会福祉法人会津児童園は児童福祉法に定められた児童養護施設です。社会には様々な理由で保護者がいなくなったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもたちがいます。こうした子ども達を公的責任の下、保護養育するとともに、これらの家庭を支援する施設です。会津児童園(児童養護施設)への補助金事業。児童から高校生まで 現在33名が入園している。(定員=45名)幼児=5名 小学生=10名 中学生=11名 高校生=7名。児童養護施設 会津児童園へ必要としている品物の寄贈及び東大宮サマーフェスティバルへ子供たちを呼び、ポリオ募金活動を通じて地域奉仕を経験していただく。(訪問は未定)補助金事業予算は約400,000円~500,000円前後を予定。補助金事業に先立ち、3月18日、会津児童園へ訪問し打合せ及び事前視察に行ってきました。(参加者は渡部、瀬田副会長、鈴木バスト会長、山田雅明 社会奉仕委員長)。寄贈及びサマーフェスティバルへの参加(案)ルームエアコン1台(工事費含)。43インチ程度のテレビ。DVD プレーヤー。スクリーン。プロジェクターを予定しております。一年間、皆様のご協力よろしくお願ひ致します。ご清聴ありがとうございました。

スマイルBOX報告 田中秋弘委員長

◎渡部会長エレクト、次年度会長方針よろしくお願ひ致します。
 ◎アティカさん、ようこそいらっしゃいました。
 *渡部正司会長エレクト：本日は所信表明、宜しくお願いします。ゴルフ同好会100回大会にて優勝しました。ありがとうございます。
 *山田宗一会員*岡田悦行会員*黒須英男会長*大石秀成会員・大西清和会員・金子浩万幹事・河本博会員・小林聡会員・小峰敬右会員・志村広副会長・清水伸洋会員・鈴木八郎直前会長・高橋洋文会員・橋基之会員・田中秋弘会員・千代邦夫会員・中川賢司会員・堀江誠一会員・堀口勝三会員・三枝和男会員・山田博司会員・山田雅明会員・山田康博会員
 ご協力ありがとうございました。
24件34,000円合計921,086円